

愛寿会だより

4 月号
第 82 号
平成 18 年
4 月 1 日発行



【清水教昭氏 作 “新府の桃畑”】

“また一つ峠を越えて” ―十八年度の法人の運営―

理事長 板山 賢治

春、四月は、社会福祉法人にとって新しい年度の初めの月であります。

この七月、昭和四十七年に創設された愛寿会は、創立三十四周年を迎えます。

初代理事長の平井一満さんが四十七年七月から約二十二年間、二代目理事長の平井一雄さんが二年間、そして平成八年四月から三代目を私がお引き受けして十年を超えました。

「十年一昔」と申しますが、この間の法人の歩みは、まさに「山あり谷あり」でありました。幸いにも地元各市町村、山梨県当局をはじめ県共同募金会、中央共同募金会、日本自転車振興会、日本小型自動車振興会、車両競技公益資金記念財団、中央競馬馬主社会福祉財団等の格別のご支援により着実な前進を続けることができました。心から感謝いたします。

さて、十八年度の法人事業の全体像は、概ね、次のとおりであります。

一．特別養護老人ホーム「仁生園」

百三十二名

二．「仁生園」ショートステイセンター

十三名

三．グループホーム「やすらぎ」

九名

四．「仁生園」デイサービスセンター

三十名

五．生活支援ハウス「こあらま」

九名

六．介護相談センター

（六事業） 《定員合計》百九十三名

このほか「セミロングステイ」、「喫茶いこい」を開設し、支えるスタッフ百名、年間総事業予算約六億九千万円であります。十八年度における課題は三つあります。

第一は、介護保険制度や障害者自立支援法などの改革についてよく学び、その制度や予算を利用者のためによく活かして使うための工夫と努力であります。

第二は、そうした制度や施策の内容を利用者や家族の皆さんによく説明し、理解・協力してもらう工夫と努力であります。

第三は、旧長坂町よりお預かりしている小荒間・桜畑の二千四百坪の地に「第二仁生園」の建設に着手することにあります。

目下、「発展計画委員会」（小澤澄夫委員長）の提案をもとに北杜市、山梨県、国等との折衝を続けておりますが、重度の障害者を中心に「身体障害者自立支援法」の精神を受けて生活、介護、訓練、就学等の「自立の場」づくりを目指しております。幸い北杜市では、白倉市長のご配慮もあり、すでに予算化を予定されているようでありまして、まことに力強い限りであります。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

― 理事会・評議委員会開催 ―

第百六十四回理事会並びに第十一回評議委員会が、三月二十四日に開催され、次の事項について協議されました。

一．定款の変更について

目的中の「痴呆」を「認知症」に変更。
副理事長職の新設。常務理事の職務権限。「名誉会長」から「会長」職への変更について承認されました。

二．新規事業の申請について

四月より始まる介護予防事業の内、当法人としてはデイサービス・ショートステイ・グループホームの事業を実施することとして、各運営規程が承認されました。

三．デイサービスセンター運営規程の改正について

サービス提供時間を五月より、午前九時二十分から午後三時三十分までとする改正が承認されました。

四．平成十七年度補正予算について

本部会計、仁生園会計補正予算案が提出され、承認されました。

五．平成十八年度運営方針・事業計画について

愛寿会が運営する六事業の運営方針・事業計画が提案され、承認されました。

六．平成十八年度一般会計予算について

本部会計外六会計の収支予算が提案され、承認されました。

七．評議員の改選について

三月三十一日付で代わる、当て職評議員の変更の選任について、理事長に一任されました。

八．愛寿会発展計画の進捗状況について

これまでの進捗状況及びこれからの予定等が報告・説明されました。又、第二仁生園建設に関する各種書類申請等については理事長に一任されました。

九．その他

任期満了に伴う「苦情解決相談委員」の改選について、理事長に一任されました。

― 平成十八年度愛寿会 ―

一．運営方針

二十一世紀の超高齢化社会へ対応するた

め、「利用者本位のサービスの実践」「専門性の活かせる職場づくり」「地域社会との協働と貢献」をめざし、八ヶ岳南麓地域における「福祉総合支援センター」としての役割を果たすよう、次のような方針を持って法人の運営を進める。

ア．老人福祉の基本は、利用者本位のサービスの実現と自立支援にある。そのために、利用者一人ひとりのニーズの確かな把握とサービスの提供に努める。

イ．仁生園は介護保険事業所として、在宅・入所両面のより良いサービスの実現に努める。

ウ．北杜市（旧長坂町）より提供された用地に、「障害者生活支援施設第二仁生園」の建設を推進する。

エ．介護保険制度の改革、障害者施策の進展等に対して、役職員の意識改革・研究開発を進めるとともにケアワーカーの専門性の向上に努める。

二．事業計画

十八年度も理事会・評議委員会・監事会の開催、情報開示、苦情相談、安全対策、財政基盤の確立、職員の資質向上に努めてまいります。又、愛寿会の発展計画の推進にも努力いたします。

ア．「身体障害者療護施設」（仮称第二仁

- イ. 生園) の建設
 - イ. 仁生園二号館改修工事(大部屋解消、生活環境づくり、雨漏り防止)の検討
 - ウ. 礼拝堂の利用等精神的な癒しの場の検討
- 三. 予算編成方針
 - ア. 予算編成にあたっては、次の要素を勘案しつつ財政の合理化に努める
 - ① 平成十八年度借入金償還(社会福祉医療機構)
 - ② 愛寿会発展計画の推進
 - ・ 「身体障害者療護施設」の建設
 - ・ 仁生園二号館改修工事等の計画書作成
 - ③ 利用者への法人減免継続実施 (平成十八年度二百万円)
 - ④ 各種経費の節減 目標 一%
- イ. 事業の努力目標
 - ① 特別養護老人ホーム利用率 九十八.二% ↓ 九十八.三%
 - ② ショートステイ利用率 九.五名 ↓ 九.七名
 - ③ グループホーム利用率 九十九.一% ↓ 九十九.二%
 - ④ 生活支援ハウス利用率 八十七.〇% ↓ 八十七.〇%
 - ⑤ デイサービスセンター年間利用者数

- ⑥ 相談センター年間利用者数 四千五百名
- ⑦ グループホームによるサービス水準の向上 八百名
- ウ. 制度改正への対応
 - ① 学習会への参加及び開催
 - ② 新しい事業の展開(栄養マネジメント、筋力トレーニング等)
- 四. 特記事項
 - ア. 理事、評議員、監事、顧問の改選(任期平成十六年七月二十五日から平成十八年七月二十四日)
 - イ. 苦情解決委員の改選(任期平成十六年四月二十八日から平成十八年四月二十七日)
 - ウ. サービスの向上のため「委員会活動」の実施
 - ・ 安全対策委員会
 - ・ 衛生委員会
 - ・ 防炎対策委員会
 - ・ 広報委員会
 - ・ 福利厚生委員会
 - ・ ケアサービス研修委員会(十二部会)
 - エ. 利用者負担に対する法人減免の実施(平成十八年度)
 - オ. 介護保険法改定に伴う利用料等の変更について、利用者・保証人等への説明の徹底

	収 支 予 算 総 額		比 較 増 減	
	前 年 度	本 年 度		
愛 寿 会 本 部	123,086	118,005	▲	5,081
特別養護老人ホーム仁生園	509,708	495,092	▲	14,616
デイサービスセンター	34,704	35,563		859
ショートステイセンター	37,682	34,832	▲	2,850
介護相談センター	10,503	6,729	▲	3,774
グループホームやすらぎ	37,703	36,940	▲	763
生活支援ハウスこあらま	8,363	8,363		0
合 計	761,749	735,524	▲	26,225

平成十八年度一般会計当初予算
(単位：千円)

― 二月の行事から ―

法話

三月二十三日(木)、北杜市高根町の養福寺北村住職、韮崎市の永明院河内住職による法話が行われました。

北村住職のお話に加え、『四摂法御和讃』『彼岸御和讃』という御詠歌をお聴かせくださいました。ご住職の澄んだお声に、入居者、職員一同心が洗われました。

そして、ご住職と入居者、職員も参加させていただき、『同行御和讃』を歌い、合掌をさせていただき、心身ともに清められた一時でした。



【御詠歌を歌う北村住職と河内住職】

防災訓練

三月十日(金)、長坂消防署のご協力をいただき、心肺蘇生術、応急措置訓練及びAED(自動体外式除細動器)を使用した一次救命手当についてご指導をいただきました。

この度、当園でもAEDを設置することとなりました。これに伴い、正しい使用法を習得し、緊急時に的確且つ迅速な行動が取れるよう、職員全員に徹底してまいります。



【心肺蘇生訓練を行う看護師】

ご芳情(三月一日〜三月三十一日)

- ・北杜市 金曜会
 - ・北杜市 望の会
 - ・北杜市 保坂多枝子
 - ・北杜市 もんゆい
 - ・小淵沢町 やまぼとの会
 - ・小淵沢町 絵手紙クラブ
 - ・レクボランティアほがらかグループ
 - ・天理教北巨摩支部
 - ・北杜市 三輪田かつる
 - ・北杜市 小林千旦
 - ・北杜市 小泉小学校児童会
- 様 様 様 様 様 様 様 様 様 様 様 様

利用者状況(三月末現在)

仁生園入居者	平均年齢	一三二名 八十三・六歳
ショートステイ	利用状況	一日〓一・六名
デイサービス 利用登録者		長坂町・他市町村 一一一名
グループホーム やすらぎ		九名
生活支援ハウス こあらま		七名

仁生園のサービスに何かご意見、ご要望や苦情などがございましたらこちらまでお寄せ下さい。電話0551-32-3340

担当 清水 俊彦